

5 月度業務報告

(一社) 中国地域ニュービジネス協議会
山内

(I) 5 月度 主要イベント

- 5 月 14 日(木)、理事会用 Zoom 会議の接続確認テスト実施
- 5 月 25 日(火)、第 4 回中国地域女性ビジネスプランコンテスト(SOERU)4 者会議開催
- 5 月 26 日(火)、理事会用 Zoom 会議の参加者接続リハーサル実施
- 5 月 27 日(水)、お気軽相談会開催

(II) トピックス

(1) 中国 NBC 理事会、総会、中国地域ニュービジネス大賞(NB 大賞)表彰式開催の準備

理事会、総会、NB大賞表彰式の開催と3密対策の両立に向けて事務局で知恵を絞りました。この結果出てきた案は、「理事会はWEB会議(Zoom)を併用する。総会は facebook で同時配信し、できるだけ委任状提出をお願いして人数を絞る。NB 大賞は一社二名のみの参加に絞って頂き、こちらも facebook で同時配信する。ただし、表彰状を渡す壇上は、できるだけ従来に近い晴れがましい場を維持して、社内外やマスコミへのアピールを支援する」、というものです。

Zoom は悪評が立った時もありましたが、良く調べた結果、使う側がしっかりセキュリティの設定をすれば大きな問題はないと判断しましたし、何よりもその機能と利用料の安さが魅力です。

WEB 会議で参加される理事の方々9名とは、事前の接続テストを会場のホテルから実施して、単に接続だけでなく、音声も相互にうまく伝わり、会議ができる事を確認しました。facebook による動画の同時配信は、音声をいかに聞き取りやすく配信するかが今回の課題でしたが、会場のマイク音声をライン入力する事で対策を完了しました。これら以外の例年の準備に加えて、COVID19 対策の体温測定準備、マスク準備も完了し、順調に準備を完了しました。

【接続テスト】



【接続リハーサル準備】



【理事さんとの接続リハーサル】



(2) 創業塾開催準備(島根支部)

島根支部の石碕支部長は以前から「島根県は廃業が多く、創業が少ない」ことから、島根県経済の将来に強い危機感を持っておられます。このため、自らが創業塾を立ち上げて、大学生、高専生、高校生を対象に創業について啓発し、起業家を育て、将来の地域経済活性化に繋げ

ることを今期の活動目標の一つに掲げられております。

具体化の第一歩として、このたび、石碓支部長、中国 NBC 阪井部長が島根大学を訪問し、服部泰直学長、アントレプレナー教育担当の杉江実郎教授と、どういう形で連携ができるかについて話し合いを実施しました。この結果、島根大学にて来年度(2021年度)に、創業に関する講義カリキュラムに講義の一コマとして組み込んで頂くこと、今年度は、そのための準備を進めていくことで合意しました。講師は、自ら創業して実績を挙げている人を選びます。

なお、今年度の島根支部活動の創業支援としては、来年2月頃に中国 NBC の内海新会長に登壇して頂き、創業に関する講演会を開催することとしました。

(3) 第4回中国地域女性ビジネスプランコンテスト(SOERU)4者 会議開催

昨年同様、今年も、(一社)中国経済連合会(中経連)、(株)日本政策投資銀行(DBJ)、中国 NBC の三者共催、中国経済産業局(中国経産局)の協力という建付けで、4回目の SOERU を開催いたします。今年度の SOERU 開催に向けて、関係4団体でキックオフミーティングを開催しました。全体スケジュール、サポーター企業の募集、女性起業家の募集要項、応募用紙、会場、予算などについて、事務局担当の中国 NBC で作成した草案を元に、個々の内容について、参加者で確認しました。

4団体の参加メンバーでも、最初から SOERU に携わっている人、今回初めて携わる人と、SOERU 運営実務に関する経験レベルにばらつきがある上に、COVID19 の影響がどう出るか今後の予測が難しく、いろいろな意見が出ましたが、最終的に大卒合意できました。

現時点では、表彰式だけでなく交流会まで計画しておき、会場キャンセル料が発生する二か月前に最終判断する事としました。応募開始のプレリリースは7月3日、募集期間は7月14日から9月8日、最終審査が11月6日、審査結果のプレスリリースは11月10日、表彰式・発表会・交流会は12月15日で決定しました。

(4) お気軽相談会開催

昨年まで、女性起業家等支援事業の枠組みの中で、「お気軽相談会」を開催しておりました。今年度も SOERU 開催が継続となり、女性起業家候補者の発掘・育成に、このお気軽相談会を有効活用しようと考えております。

これまで講師を務めて頂いた、(有)アークス取締役の高田あや氏に快諾頂き、今年度は、お気軽相談会を4回開催する計画とし、その第1回目を開催しました。新型コロナウイルス禍のために、会議室での参加は1名でしたが、WEB 会議参加は3名、合計4名の参加でした。起業予定者が公的な支援機関に行く前の、構想が非常に柔らかい段階での気楽な相談会です。5月、7月、9月、11月の年4回、1回2時間程度の相談会を開催します。

今回は、参加者の創業に対する意識、事業の進捗段階、職業経験がかなりばらついていたので、この人達で話し合いをして、高田氏がどういう進め方をされるのか、注目しておりました。高田氏は、参加者の背景を頭に入れたうえで、参加者全員から均等に意見を引き出し、そして上手にまとめておられました。参加者の表情を見ておきますと、最初は皆さん緊張されておりましたが、徐々に打ち解けて話し合いも活性化し、皆さんの表情も明るくなり、笑顔で話し合いに参加されておりました。事後の感想も総じてポジティブでした。高田氏のファシリテーションカに感心しました。残り三回も楽しみです。

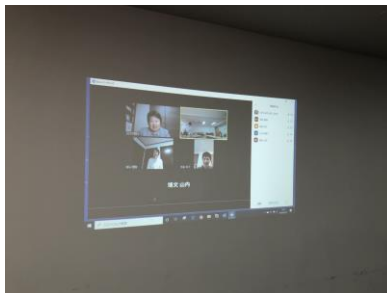
中国 NBC としては、初めての本格的な Zoom 会議(多人数双方向という意味で)でした。会議室側の参加者の声を遠隔地の参加者にクリアに伝えるには、参加者の一人一人がマイクに

近いこと、会議室内に外部の雑音を入れないこと、また、会議室内での音の反射を極力防止することなどが必要であることが分かりました。次回までには、対策を練っておきます。

【お気軽相談会会場の様子】



【WEB 参加の皆さん(3名)】



(5) その他

① 起業女子応援 NAVI@中国地域ネットワーク活動の継続

受託事業の女性起業家等支援事業で取り組んだ活動の中で、4章で説明しましたお気軽相談会以外に、中国地域の女性起業家の発掘・育成に有効と考えている活動がもう一つあります。「起業女子応援ナビ@中国地域ネットワーク活動」です。中国五県の女性起業家支援機関のネットワーク(情報交換会)です。この活動の名称の継続使用に関して中国経産局の了解を得たうえで、今年もネットワーク活動を継続することを各創業支援機関に連絡しました。この結果、32団体から参加の回答がありました。6月下旬から7月上旬に、ネットワークを構成する支援機関の連絡会議開催を目指して、現在企画を練っております。

過去4年の受託事業の枠組みの中では、起業を考えたこともないような女性(フェーズ0、1と呼んでおりました)を対象とした啓発活動が中心でした。今年度は、受託事業の枠組みがなくなりましたので、フェーズ0から創業後5年程度(フェーズ3)までの女性起業家を対象とした活動に変更します。ネットワークの構成機関で、女性起業家の支援情報(成功例、失敗例)を共有し、相互啓発の場にしようと考えております。その活動の延長として、SOERUの応募者の発掘・育成・推薦をお願いいたします。

② オンラインツールの使用スキル向上

with コロナの時代に、弊協議会の通常活動をどうやって進めるか、中国NBCにとっては大変重要な問題です。対策手段の一つとして、月並みですが、WEB会議の活用があります。弊協議会としては、コストパフォーマンスからZoom使用前提で、スマホもPCも使い、事務所から、会議室から、自宅(テレワーク)から、いろいろな接続方法を試しております。4章で述べましたように、多数の人が一つの会議室内からZoom会議に参加する時は、会議室内の音声の拾い方(相手へのクリアな音声の伝え方)が課題だということも分かり、解決策を検討中です。

事務局として、Zoomはじめオンラインツールの使用スキルを高めて、時代の要求に対応して参ります。

(6) 5月度雑感

本報告は5月度の月報のため、執筆時点で6月3日の理事会、総会、NB大賞表彰式を無事終了しております。ほっとしたいところですが、COVID19の影響で、すでに、今期の各支部の活動計画6件が中止や延期となっております。「新しい生活様式」を取り入れつつ、弊協議会の

活動をどうやって進めていくか、未経験の問題です。オンラインだけの情報交換では、Face to Face に比べて情報伝達量が低下するように聞いております。一方で、3 密対策は欠かせません。オンラインツールを併用しつつ、少人数参加の会合開催がアイデアとして浮かびますが、事務局の独走にならないように、各支部役員会で支部長、支部役員のご意見をお聞きした上で、支部ごとに活動内容を詰めて参ります。

以上